

あじがさわ

発行…青森県鱒ヶ沢町議会 〒038-2792 青森県鱒ヶ沢町大字舞戸町字鳴戸321番地 編集…議会広報編集委員会 ☎0173②2111(代)

この広報紙は再生紙を使い、議員の自主編集で発行しています。



～ 収穫へ向け メロン苗の定植 ～

木村賢一さん（小屋敷町）の畑では、メロン苗の定植が行われました。
準備されたトンネルにタカミ、ピレンス、ユウカなどの品種の苗が手際よく植えられ、順調に生育すると、7月下旬には収穫期を迎え、直売所で販売されるとのことです。 令和4年4月25日
※最終ページに、木村賢一さんが経営する株式会社ほのかの特集記事を掲載しています。

3月
定例会号

新年度の予算・主な取り組み	2～3
第1回定例会	4～5
一般質問（議場での一般傍聴は中止となりました）	6～7
予算特別委員会 審議のようす	8
代表監査委員町功労褒賞受賞、第1回臨時会	9
特集 はつらつチャレンジャー 農業を会社組織で	10



新型コロナウイルス感染症対策事業ほかを実施 ～令和4年度の主な取り組み～

- ◇新型コロナウイルス感染症対策事業 6781万円
- ◇新型コロナウイルスワクチン接種事業 2008万円

新型コロナウイルス感染拡大防止対策、町持続化給付金などに関する事業

新型コロナウイルスワクチン接種に関する事業



ワクチン接種3回目の予約の様子

令和4年度の一般会計当初予算は、予算特別委員会の審議を経て、本会議において全会一致で可決されました。
このページでは、新年度の主な取り組みについてお知らせします。
(※表示金額は予算額のため、実際の事業額とは異なる場合があります)

- ◇鯉ヶ沢町福祉安心・安全支援事業 (重層的支援体制整備事業) 9354万円

地域住民が生活をしていくうえで抱える、複雑かつ複合的な福祉課題を、一体的に支援していくことを目的とした事業



支援方法について話し合う重層的支援会議の様子

- ◇舞戸中村線道路改良・交通安全対策事業 1億円

道路災害(冠水)対策として、舞戸町後家屋敷から中下の一部を整備する事業
JAつがるにしきたつがる白神支店付近から館踏切までの通学路歩道整備事業



改良される舞戸中村線道路

- ◇白八幡宮大祭文化保存費 284万円
- ◇白八幡宮大祭実行委員会助成金 200万円

4年に一度開催される白八幡宮大祭に関連する費用
(新型コロナウイルス感染症の影響により、1年延期され今年開催予定)



8月に開催予定の白八幡宮大祭

- ◇林道長間瀬線1号橋補修事業 4230万円

災害発生時の避難路、代替輸送路としての機能が確保される林道を改良し、強靱化を図る事業



改良される林道長間瀬線1号橋

そのほかの主な事業

- ◇保育所等整備事業補助金 2億1057万円
- ◇町観光協会補助金 1600万円
- ◇タウンプロモーション推進事業 1405万円
- ◇森林経営管理事業 1085万円
- ◇創業支援・空き店舗活用補助金 320万円
- ◇商工振興事業費補助金 100万円

- ◇老朽化施設解体事業 1755万円

小夜にある旧医師住宅と倉庫3棟、旧赤石小学校教員住宅の解体事業



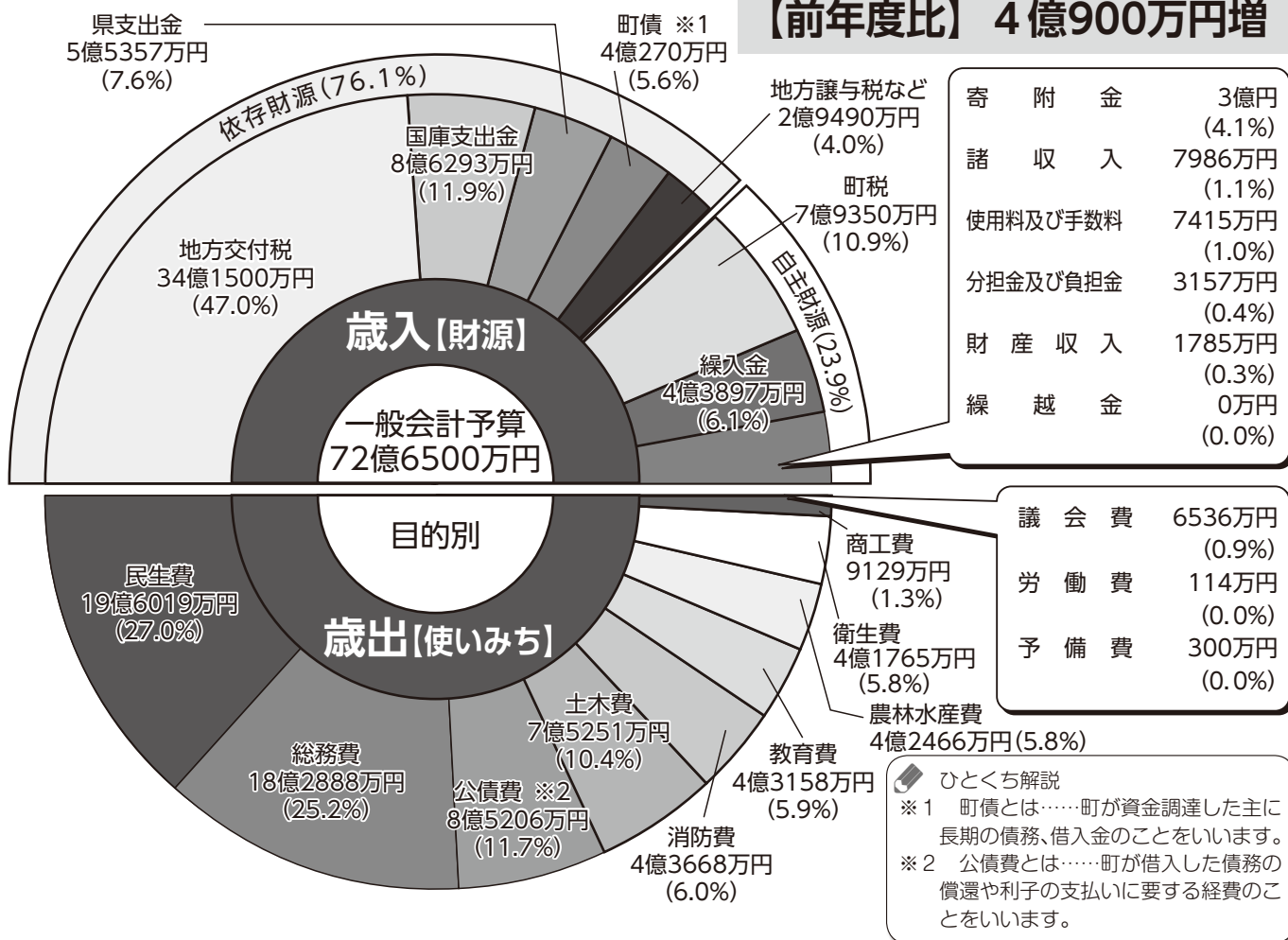
解体予定の旧医師住宅

令和4年度
当初予算

新年度予算可決

一般会計 72億6500万円

【前年度比】 4億900万円増



令和4年度一般・特別・企業会計当初予算

会計名	本年度予算額	前年度予算額	増減	対前年度伸率(%)	
一般会計	72億6500万円	68億5600万円	4億900万円	6.0 ↑	
特別会計	国民健康保険事業	15億3278万円	15億4985万円	-1707万円	-1.1 ↓
	農業集落排水事業	1億5772万円	1億5383万円	389万円	2.5 ↑
	小規模水道事業	615万円	613万円	2万円	0.3 ↑
	公共下水道事業	3億3853万円	2億5440万円	8413万円	33.1 ↑
	墓地公園事業	20万円	20万円	0	0.0 —
	介護保険事業	15億3920万円	15億6547万円	-2627万円	-1.7 ↓
	後期高齢者医療	1億5609万円	1億4423万円	1186万円	8.2 ↑
	水産業振興事業	3287万円	3390万円	-103万円	-3.0 ↓
財産区特別会計	927万円	1067万円	-140万円	-13.1 ↓	
【企業会計】水道事業	5億3281万円	5億3274万円	7万円	0.0 —	
全合計	115億7062万円	111億742万円	4億6320万円	4.2 ↑	

※予算額は、万円単位(四捨五入)で表示しています

財産区特別会計は、5財産区管理会(北浮田、長平、浜横沢、中村、舞戸)の合計額となっています。

令和4年
第1回
定例会

会期
3月3日～10日

除排雪対策費1億5000万円増額 専決処分を承認

令和4年第1回定例会が3月3日から10日までの日程で開かれました。開会日の3日、条例改正案、令和4年度一般会計当初予算案など議案37件、諮問1件、報告2件、意見書案1件が上程されました。

8日の一般質問では、議員2名がコロナ禍における事業者への支援について、水道事業の運営についてなどを町政へ問いました。(質問内容は6～7ページに掲載しています。)

最終日には、9日の各常任委員会、予算特別委員会(内容は8ページに掲載しています。)された議案等39件は全て原案どおり議決されました。主な議案等は次のとおりとなっています。

追悼



追悼演説を行う神孝議長

3月3日、定例会に先立ち、1月13日に逝去された、故世永富也議員に対する黙祷と追悼演説が行われました。



施政方針を述べる平田衛町長

▼西海岸衛生処理組合 議会議員の選任

欠員となっていた西海岸衛生処理組合議会議員に、渋谷悦男議員が選任されました。



議会閉会後の関係者による記念撮影

▼条例の制定 手話言語条例の制定に ついで **可決**

手話に対する理解及びその普及を図り、手話を使用する町民が安心して暮らせる地域共生社会の実現に寄与するためのもの。

令和4年4月1日施行

▼条例の一部改正 **可決** 報酬及び費用弁償の額並びにその支給条例の改正

特殊技能を要する鳥獣被害対策実施隊員の後継者育成、人材確保の重要性から隊員の報酬を引き上げるもの。(報酬日額2100円増)

また消防団員数が著しく減少する中、地域防災力の中核となる消防団の充実強化と団員の士気向上を図るため、処遇改善をするもの。(報酬年額2000円増)

令和4年4月1日施行

特別職の職員の給与に 関する条例の改正

町長及び副町長の4月分の給料月額を10分の1減じる特例措置を実施するためのもの。

令和4年4月1日施行

▼専決処分 令和3年度一般会計補 正予算 **承認**

○専決第1号
子育て世帯等臨時特別支援事業に急務を要する予算措置。
歳入・歳出それぞれ3億2347万6000円増額し、補正後の予算総額は77億2678万6000円とする。

○専決第2号
除排雪対策費等に急務を要する予算措置。
歳入・歳出それぞれ7211万4000円増額し、補正後の予算総額は77億9890万円とする。

○専決第3号
除排雪対策費に急務を要する予算措置。
歳入・歳出それぞれ8000万円増額し、補正後の予算総額は78億7890万円とする。

▼固定資産評価審査委員会委員の選任

同意

4月9日に任期満了となる固定資産評価審査委員会委員を選任することに同意するもの。

▽再任

富田 重基 氏 (本町)
齋藤 博 氏 (中村町)

【任期】令和4年4月10日から3年

▼人権擁護委員候補者の推薦

適任

欠員となっていた人権擁護委員の候補者として推薦するにあたり、適任と判断するもの。

▽新任

齊藤 芳子 氏 (中村町)

【任期】法務大臣から委嘱される日から3年

▼浜横沢財産区管理会管理委員の選任

同意

4月27日任期満了となる浜横沢財産区管理会管理委員を選任することに同意するもの。

工藤 忠昭 氏
長谷川 武 氏
石井 武則 氏
佐藤 勝弘 氏
本間 謙一 氏
佐藤 浩 氏

【任期】令和4年4月28日から4年



～議会の意見を国政へ～

全会一致で可決された意見書は、国へ提出されています。

▼意見書案第1号

最低賃金の改善と中小企業支援策の拡充を求める意見書

可決

【内容】

コロナウイルスによる感染収束のめどはたたず、中小零細企業を中心に大きな打撃を受けている。また、景気の悪化でパートや非正規雇用等で働く労働者が、失業や労働時間削減に追い込まれている。

青森県と東京都では時給219円もの最低賃金

の格差があり、若い労働者の都市部への流出が、地域の労働力不足を招き、地域経済の疲弊につながっている。

世界では、最低賃金全国一律制をとっている国がほとんどで、具体的な中小企業支援策を実施し、最低賃金の引き上げを支援している。日本でも、中小企業への具体的で使いやすい支援策を拡充する必要があることから、

・労働者の生活を支えるため、最低賃金1500円以上をめざすこと。
・最低賃金法を全国一律最低賃金制度に改正すること。

・最低賃金の引き上げができ、経営が継続できるように、中小企業への支援策を最大限拡充し、国民の生命とくらしを守ることを求めるもの。

【提出先】

内閣総理大臣、厚生労働大臣、中央最低賃金審議会会長

故世永富也
議員に叙勲



故世永富也議員（令和4年1月13日逝去）は、町議会議員活動を通じ地方自治の発展

に寄与された永年の功績が認められ、旭日双光章を受章されました。

一般質問



菊谷 忠光議員

コロナ禍における事業者への支援について

問・新型コロナウイルス感染症のまん延により、未だに町内の商工業、観光業や飲食業において疲弊した状態から脱却の兆しが見えない状態が続いている。町は、これらに対し、どのような対策を考えているのか伺いたい。



海の駅わんど内のようなす(5月2日)

3月定例会では、2名の議員が質問しました。一般質問では町の行財政全般に関し町長の考えや、町の施政方針を問います。

コロナ禍での町内事業者への支援対策は答へ引き続き各種施策を実施していく

答弁・千島政策推進課長

令和4年度の事業者支援については、令和3年度に引き続き、売上げが落ち込んだ事業者に対する支援の持続化給付金、プレミアム付き商品券の発行、キャッシュレス決済によるポイント還元キャンペーン、宿泊キャンペーン等を実施してまいります。

問・プレミアム商品券については、抽選で外れる人がいます。町民全体に公平に行き渡るよう、予算を増額するなどして発行枚数を増やすことはできないか。

答弁・千島政策推進課長
プレミアム商品券については、町内の消費拡大

を目的に、できるだけ広く町民の方に利用していただくため、抽せん方式としていく所です。

町内の消費拡大が目的ですので、プレミアム率というよりもどのくらいの規模で実施するかということが重要だと考えています。

予算を増やすことで商品券を利用できる方が増えるのはそのとおりですが、このプレミアム分の財源は、新型コロナウイルス感染症対策の交付金を活用しており限度がありますので、様々な施策がある中で、商品券はプレミアム分として1000万円の財源を上乗せして実施したところで、令和4年度については、このプレミアム分を15

00万円に増額した規模で実施したいと考えておりますが、申込者全員が当選する仕組みは難しいことから、ご了承くださいようお願いいたします。

問・令和4年度の持続化給付金の制度概要をお伺いします。

答弁・千島政策推進課長
令和4年1月から3月を対象に、1ヶ月当たり20%以上売上げが落ち込んだ事業者を対象に、同じ規模の給付金を支給する制度となっております。新年度に入ってからできるだけ早期に進めたいと考えています。

問・令和4年度は、JR東日本と北東北3県観光

関連大事業、観光キャンペーンの実施などの大型イベントが予定されています。当町の宿泊キャンペーン事業をこれらと絡めて展開することは検討されていますか。

答弁・千島政策推進課長

令和4年度の宿泊キャンペーンは、新型コロナウイルス感染症の拡大状況を注視しながらの実施になります。特産品のプレゼントや町内の店舗で使用できるチケットを付けたキャンペーンなどを検討してまいります。

また、JR東日本の北東北3県の重点販売キャンペーンに合わせ、天童山にスポットを当てた散歩事業や白八幡宮大祭にタイアップした観光事業を展開してまいります。

意見・令和4年度は、白八幡宮大祭や大型イベントがあるということで、事業者への支援、施策その他を検討し、最大限の効果が発揮されるようお願いいたします。

※菊谷議員は、このほかに次のような質問をしています。

◆米農家への対策及び救済支援策について

令和4年度の米概算金が去年に比べ下落すると予想される中、将来を悲観し、稲作から離れてしまふ農家が増える恐れがあります。この懸念される事態をどのように考え、また救済支援対策の計画があるかを伺います。

米農家をめぐると状況は、非常に厳しいと認識しています。

令和3年度は、米概算金が大幅に下落したことを受け、米の生産者に対し、10アール当たり5000円の助成金を支給いたしました。

令和4年度については、現時点で判断材料が乏しく見通しがつかない状況ですが、当然、一次産業の振興を考えれば、状況に応じて相応の対応を考えたいと思っています。



佐藤 薫議員

町浄水場の建て替え計画の予定はあるのか 答へ給水人口の推移と財政状況を踏まえ検討したい

水道事業の運営について

必要があると思うが、建て替え等の計画は予定しているのか伺います。

が必要であると思っております。令和4年度には、平成28年度に策定した鱒ヶ沢

ライフラインを守るという観点から、建て替えの必要性について町長の考えを伺います。

当町にも水管橋がありますが、それがそれらの点検状況と、特に老朽化して危険と思われる水管橋が当町にあるのかを伺います。

橋に準じた形での点検や対応の必要があると思えます。安全安心の観点から、適切な対応をお願いいたします。

答弁・木村水道課長

問・稼働から40年が経過する町浄水場は、老朽化が進み、安定的稼働のため定期的にメンテナンス等の必要な措置を講じていることと思うが、それらの維持管理費について伺います。

建て替えに係る更新計画については、施設が昭和56年の供用開始以来40年を経過し、老朽化が顕著なことから、それほど遠くない時期に建て替え

町水道事業経営戦略（30年から50年間の中長期的な投資財政計画を反映させたもの）を改定することとしており、施設の更新計画を進める上での検討材料の一つとして、また、

施設の償却期間は、まだ10年ほどその期間が残っていますが、設備については随時更新してまいりました。

町としましては、浄水場の新設、設備更新は考えているところで、人口減少の中で、将来的な給水人口がどのように推移していくのか、また、財政の状況、起債残高の推移を踏まえながら、新しい浄水場の検討をしてまいりたいと思っております。

◆新型コロナウイルスワクチン接種事業については、町内各戸配布されたチラシでは、4月末日までの接種日程が記載されていますが、病気や仕事の都合等で、4月末日までに3回目の接種ができない人への対応について伺います。

答弁・木村水道課長

町浄水場の維持管理費として、年間約2100万円支出しています。そのうち、メンテナンス等に係る修繕費として、約500万円弱支出しており、安全で安心な水道水の安定供給に努めています。



供用開始以来40年が経過している町浄水場

水道事業の経営に影響がないよう、検討してまいりたいと考えています。

問・昨今は自然災害が非常に多く、昨年は下北地方においても大きな災害がありました。災害に強い水道、災害対策及び

問・昨年、和歌山県和歌山市で水管橋の崩落があり、長期にわたって断水という事態が発生しまし

◆新型コロナウイルスワクチン接種事業が9月末日までの事業ですので、4月末日までに接種できなかった人に対しては、町内の医院で継続して接種できるよう、体制を取ってまいります。

予算特別委員会の審議

3月9日

令和4年度一般会計当初予算案は、議員全員による予算特別委員会（菊谷忠光委員長）を設置し、詳しい審議を経て本会議で決定されました。ここでは同委員会で審議された内容を一部抜粋してお知らせします。



はしており、工事は今年10月までの予定で、整備した段階の状態に戻すものです。

【防災行政無線復旧事業について】（佐藤薫委員）

昨年、落雷で故障し12月議会において債務負担行為を設定し、今回予算計上されていますが、契約済みということですが、また、事業は以前の状態に戻すということですか。

答（工藤総務課長） 契約



【老朽化施設解体事業について】（東條委員）

工事請負費としてありますが、これはどの分ですか。

答（斉藤建設管財課長）

旧赤石小学校教員住宅解体工事と小夜にある旧医師住宅の解体工事、2件分です。



【重層的支援体制整備事業について】（佐藤昭司委員）

新しい事業であります。内容をお聞かせください。

答（神ほけん福祉課長）

これは国の事業名であり、平成30年から多機関と町社会福祉協議会とで行っている事業を集約して、連携を密にし、困窮者など制度の狭間で困っている人等からの相談についても、早期解決に向かうよう、強化して対応にあたるものです。



【中山間地域等直接支払交付金について】（神委員）

この事業の進み具合はどうですか。

答（田村農林水産課長）

条件不利地域の農地を守り、国土保全、地域の保全に結果つながること、国の制度を導入しています。高齢化により、解散していく集落協定もあるため、これ以上減らないよう協定を組んでいる集落については、今後も支援をしていきたいと思っています。

【森林管理費委託について】（田中委員）

新年度どれくらいの進捗を見込んでいますか。

答（田村農林水産課長）



【田村農林水産課長】

まだ手掛けたことのない事業ですが、赤石地区を中心に現況調査等をしていく予定です。



【町営住宅について】（斉藤委員）

何年前から空き家が増え、古いままにして見栄えもよくない。しっかりと長期計画を組んでもらいたいと思

答（小笠原社会教育課長）

【コミュニティスクールについて】（渋谷委員）

今年、どういう計画があるのか教えてください。

答（小笠原社会教育課長）

先進地の学校の状況を見て、タウンミーティングを行い、広く住民の意見を吸いあげて方向性を決めたいと思っています。



いたすがいかがですか。
答（平田町長） 住宅はかなり老朽化している部分が多く、修繕しながら維持しています。新設についてはかなり難しく、町内の住宅事情は考慮し、検討してまいりたい。

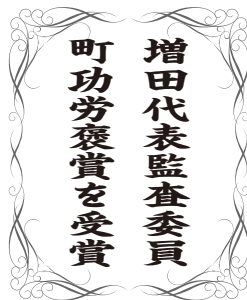


町功労褒賞を受けた増田晶夫代表監査委員

増田晶夫代表監査委員は、多年にわたり、町監査委員として、厳正にして適切な監査をもって町政伸展に尽力されていることから、町功労褒賞を受賞されました。



3月11日、平田衛町長から表彰状を受ける増田晶夫代表監査委員



令和4年度 年度始め式

4月1日、町役場2階議場において、町三役、各課長、新採用職員等が出席し、年度始め式が行われました。



年度始め式で祝辞を述べる田中亨副議長

町議会からは田中亨副議長が出席し、「新しい年度、よりよい町となるよう一層業務に励み、すばらしい成果を上げていきましょう。」と祝辞を述べました。
式のようなすはモニターで庁舎内に配信されました。

第1回 臨時会 4月26日



令和4年第1回臨時会が4月26日に開かれました。本臨時会には、専決処分、農業委員会委員の任命に同意を求める議案等15件が上程され、審議の結果、全議案とも全会一致で議決されました。主な議案は次のとおりとなっております。

▼農業委員会委員の任命

5月12日で任期満了と

同意

なる農業委員会委員を任命することに同意するもの。

▽再任

木村 賢一氏(小屋敷町)

三上 三樹氏(鬼袋町)

工藤 修二氏(中村町)

對馬 孝氏(中村町)

佐藤 松子氏(松代町)

木村 暢子氏(建石町)

工藤 清氏(小森町)

工藤 文信氏(深谷町)

神 文人氏(湯舟町)

▽新任

神 秀穂氏(北浮田町)

今 仁司氏(姥袋町)

大谷 大輝氏(舞戸町)

木村 優仁氏(建石町)

長谷川貴輝氏(北浮田町)

【任期】令和4年5月13日から3年

第2回定例会の予定

傍聴を希望される方はマスクの着用をお願いします。

議会日程は、議会運営委員会において正式に決定されます。議会傍聴は今までどおり行う予定としています。今後の新型コロナウイルス感染拡大の状況に応じては、変更する場合があります。開会中は町役場1階町民ホールのモニターに、議会のようすが流れています。開催日程、一般質問の議員氏名、質問事項については町防災無線、町ホームページでお知らせします。詳しくは、議会事務局へお問い合わせください。

- ▼6月7日(火)
開会予定です
《開会後の日程は次のとおりです》
- ▽6月8日(水)
一般質問
- ▽6月9日(木)
総括質疑
討論、採決、閉会

第169号の お詫びと訂正

議会広報あじがさわ第169号(令和4年2月24日発行)表紙写真下の文章1行目に誤りがありました。お詫びして訂正いたします。【誤】みなみこども園→【正】みなみ保育園

特集

はつらつ チャレンジャー

Vol.7 農業を会社組織で

「はつらつチャレンジャー」7回目の今回は、株式会社ほのか 代表取締役 木村賢一さんにお話を伺いました。
聞き手は須藤一広報委員です。

農業を会社経営にして7年目 いい作物を作り消費者へ届けたい

また、夏期はスイカやメロンの直売所を開いています。白小豆は契約栽培をしています。

Q 会社組織にした理由と社名の由来をお知らせください。

A 地域の農業を考えると、この先、会社組織でないとやっていけないと思ったことと、働く人を年中雇用したいという思いから、平成28年2月に会社を設立しました。現在3名の社員がいます。社名は、誰もが親しみやすいようにと考えたものです。

Q 農業は小さい頃からするつもりでいましたか。

A 幼少の頃から家業の農業（水稲、スイカ、メロン農家）を手伝い、大人になってからも、この仕事をしていかなければならないと思っていました。

Q 作付けしている作物をお知らせください。

A 大豆、水稲、白小豆、

にんにく、スイカ、メロンの作付けが合わせて50ヘクタール、田植えと稲刈り、大豆の作業受託を50ヘクタール行っています。

Q 作物の流通はどのようにされていますか。

A 大豆とにんにくは農業協同組合に出荷し、米

Q 白小豆を契約栽培とすることですが、白小豆はどういう作物ですか。

A 秋田の有限会社鈴和商店（雑穀、各種餡等の卸売業者）からお話があり、和菓子で有名な株式会社虎屋が品種登録している白小豆を昨年から栽培しています。



収穫後に乾燥された白小豆



小屋敷町

きむら けんいち
木村 賢一さん

鱒ヶ沢町出身。家業の農業を継ぎ、平成28年2月に株式会社ほのか（小屋敷町）を設立。水稲、大豆、白小豆、にんにくなどを作付。農作業受託も行っている。奥様、娘さん、お母さまと小屋敷町在住。



にんにくの出荷作業のようす

は、農業協同組合に出荷しているほか、飼料用米、自主流通米としても出荷しています。



収穫された白小豆



白小豆の収穫作業のようす

Q これからの目標や行ってみたい取り組みなどを教えてください。

A 会社設立から7年目に入り、ようやく軌道に乗り始めてきたように思います。

今後は、米、大豆ばかりではなく、高収益な作物をもっと増やしていきたいと思っています。

ただ先の話ですが、農作物の直売所を開いてみたいとも思っていて、この先も勉強しながら、自分自身も成長し、いい作物を作り消費者に届けていきたいと思っています。